

**「私はキリストとともに十字架につけられました。もはや私が生きているのではなく、キリストが私のうちに生きておられるのです。いま私が肉にあって生きているのは、私を愛し私のためにご自身をお捨てになった神の御子を信じる信仰によっているのです。」**

(ガラテヤ 2:20)

ハレルヤ！新春の慶びを申し上げます。今年の3月で、チアの歩みも満15歳です。神さまの恵みとあわれみの中で、一步、一步、進むことが許されています。お祈りいただきました、11月の白馬セミナーも、370名もの皆さんが参加くださり、困難や試練が許されても、「強いアイデンティティ、強い目的」をもって、歩んでいこうと、深い交わりと希望と励ましの時が持てました。もはや、「私が生きているのではなく、キリストが私のうちに生きておられる」(ガラテヤ 2:20)、そうした強いアイデンティティと、子どもたちの魂の救いと伝道という強い目的の確認です。神さまからのサポート、そして皆さんのお祈りに心から感謝です。

最終日、チア事務局に着いた時に、白馬周辺で、震度6の地震があったことを知りました。ホテルも、スタッフの皆さんのご自宅も大丈夫だったそうです。関係者の皆さんの救いと祝福を祈ると同時に、何か、神さまからの特別なメッセージがあったような、そんな受け止めをした皆さんから多くの励ましの声をいただきました。ありがとうございます。

今年も4月6日には「第2回チア・ジョイランニング」また、6月上旬の「第16回」になります「チア・コンベンション」が企画され、準備が進んでいます。

2015年も、神さまのために、皆さんのために、的確に、「主にある圧倒的な勝利」の姿勢で、仕えていければと思っています。お祈りのほど、どうぞ、よろしく願います。今年も、どうぞ、よろしく願います。

チア・につぼん代表 稲葉 寛夫

**「私は山に向かって目を向ける！…私の助けは、天地を造られた主から来る」(詩篇121:1,2) 幼稚園と小学生グループ、全員、登頂成功！**

～白馬・北アルプス山系にて



## 白馬セミナー ～永遠の希望に目を向けて～

「強いアイデンティティ、強い目的」とのテーマを掲げ、みんなで天国を考え、キリストにフォーカスして歩むことに導かれ、励まされました。僕自身、主に委ねることを、今再び、教えられました。様々な喜びと悲しみを持った皆さんが、集まってくださいました。北海道のある家族は、「修学旅行ということで、家族みんなでこれました。息子は、鉄道が大好きですが、あたるはずのない北斗星のチケットも当たり、帰りは北斗星で帰ります」とのこと。これからのB国の宣教に向かい、そこでホームスクーリングをしようという小森康三・仁美家族は、途中、車が2回、故障して、でも、ぎりぎりレッカー車に助けられ、初日の夜中に到着でした。

大阪の今井一穂さんからは、セミナー直前にメールをいただいていた。「8月に第二子の男の子（みくに）が産まれたのですが、超未熟児であったこと等により産後12時間後に召されました。胎内にいるときから非常に厳しい状況でしたが、主の導きにより生まれ、顔を見ることができたのは感謝でした。胎内いるときから私たちは親であり、ベストを尽くすことが神から私たちへの使命であるという想いで過ごしてきました。チアを通して、聖書が語る親の在り方について事前に



「最初で最後の家族3人の時間—みくにくんとの出会いと別れ」

学ぶことができたことが、みくにのことで大変活かされました。感謝とともに、偲ぶ集いのDVDをお送りいたします。（スライドは、ホームスクーラーの那須真良樹兄が作ってくれました）主がみくにのこを通して、人々に励ましを与えたり、主を証しすることが親として大変慰められます。今後の導きを求めることや主からの慰めや語りかけを聞きに、妻が代表して白馬には参加させていただきます」奥さんの真理子さんは、DVDを持ってきてくれ、「悲しいことがあったのですね。辛いですね」としか言えず、奥さんは、その場で涙となり、僕も涙しかありませんでした。DVDを見て、再び、涙でした。

その後、上記の小森ご夫妻が、出国直前に3番目の子どもさん（みくにちゃん）を流産との知らせが届きました。現在、ご家族は現地での伝道活動に入っています。今井さん家族、小森さん家族への神さまからの慰めと祝福を祈ります。天国での二人の「みくに」ちゃんと会える日も楽しみにしていきたいと思います。

（その後、小森さんからのメールです）流産のこともご心配をおかけしました。涙ばかりが溢れましたが、天国がうんと近くなりました。今回、出産されてすぐに召されたみくにちゃんのことを読んで驚きました。二人のみくにちゃんに会えるのを……とのことば、本当に心にしみます。ニュ

「結香ちゃん、みくにくんだよ！」



ースレターを読んでチアが本当に家族として細やかにメンバーの一人ひとりのことを心に抱いていて下さることを感じて感動しています。いよいよB国での生活が本格的にスタートします。これから、そのチアの励ましに支えられながらホームスクーリングも伝道もがんばります！

また、北海道の川嶋しのぶさんが、夏にガンの手術を終えて参加されたので、御主人と共に、登壇して下さり、皆で祈る時を持ちました。次女のらなささん（15）は、「ちょうどテレビドラマで、お母さんがガンで亡くなった話を見てたら、お母さんが病院から戻り、ガンだと伝えられたというので、え？今、私はテレビを見てるの？これって現実？と混乱しました。でも、両親はしっかりしていて、その姿に学びました」。御主人の康裕さんはお医者さんですが「人間の力では、何もすることができませんでした。ただ、神さまに祈り、委ねるしかありませんでした」と証しされました。しのぶさんは「家族みんなの絆が深くなったというか。娘が、一層、家事を手伝ったり、自立して学習できるようになってきた。」とのことでした。幸いに、手術は成功し、白馬に集まったみんなで、術後の完全な回復と癒しを祈りました。

その後、しのぶさんからのメールです。「祈って下さり、ほんとうに感謝しています。セミナー中、15年前に乳ガンを経験されて、今はすっか

り癒やされて元気なホームスクーラーママも紹介され、お話することができました。私には何よりの励ましのプレゼントでした。公立小に4～6年生まで行っていた息子、直道も、中学生からはホームスクールしたいと言ってくれたことも、この白馬セミナーでの大きな大きな感謝なことでした。今、4月からのスタートに向けて、ホームスクール第2ステージ準備中です。」

### ポテトサラダではなく、 野菜（シーザー）サラダで

人生、山あり、谷ありでいろいろなことがあります。でも、ぶれることなく、神さまを見つめ、失敗しても、悔い改め、主にあって固く立ってこうと、自分自身、「強いアイデンティティ、強い目的」の確認を、白馬前後、よく示されました。様々な人生の状況がある中で、主にある家族として、神さまが集めてくださり、心ひとつに励ましあえることは、本当に幸いです。もちろん、同じホームスクーラーでも、近くなればなるほど、それぞれの違いも出てくるとは思います。それで、チャーチ&ホームスクーラーの仲間は、ポテトサラダではなく、野菜（シーザー）サラダで……と伝えました。

ポテトサラダは、一つのボールで、ポテトやニンジンほか、全部つぶして形を無くして一つのサラダに仕上げます。シーザーサラダは、レタスをベースにチーズや、チキンやエビやステーキほか、そのままの風味も形も残しながらの一つのサラダです。チャーチ&ホームスクーラーとしては、相手の違いもあるし、あとで、違いに気付いてもがっかりせず、違いを尊重して、大人のつきあいで、キリストに立ち、タフにやっいていこうということです。

基調講演者のデボラさんも、子育ての上での自分の失敗を正直に分かち合いながら、多くの励ましをくださいました。ジョイスさん、ピリポさん、馬場豊さんほか、分科会やユース、チルミニを担当して下さった各講師の皆さま



白馬にて川嶋しのぶさんのガン手術からの回復を祈る（左端・太田仁一さんの奥さん、きみ子さんも5年前、乳がん手術。回復されています）

んから、聖書に立つ深い励ましとチャレンジがなされました。

聖句としては、白馬セミナー期間中、以下の聖句が示されました。「私はキリストとともに十字架につけられました。もはや私が生きているのではなく、キリストが私のうちに生きておられるのです。いま私が肉にあって生きているのは、私を愛し私のためにご自身をお捨てになった神の御子を信じる信仰によっているのです。」(ガラテヤ2:20)

「自分が既に死んでいる、キリストが生きている」という強いアイデンティティ。どんな失敗があっても苦難が許されても、誰が何と言っても自分は生きてないのだから、もはや泰然とできることに気付かされました。魂に生きているのはキリストで、その事実、アイデンティティに目を向けて悔い改め、与えられている強い目的を目指して歩むことを示されました。子どもたち、次世代の魂の救いという強い目的、希望と幸せの使命に活かされるということですね。参加者の皆さんのアンケートは、21～24ページに掲載します。ぜひ、お読みください(^^)/。

## 年末年始伝道へ

この6年あまり、大みそかと元旦に、ロサンゼルスで参加させてもらっているローズパレード伝道。(各局が、全米に中継し、100万人の見物客が訪れる、アメリカの元旦の風物詩)今年もジョセフ(6歳)と参加でき、とても良かったです。ちょっと風邪気味で具合が悪かった僕も、初日(31日)の伝道で、元気になりました。

## 風邪でひるんだものの、大みそか伝道へ

前の日、責任者のジャン・ブローマンさんに、スケジュールを聞くために、電話をしました。11月24日にガンの手術をしたばかりのジャンさんは体力を温存し、31日は休んで元旦の伝道を目指すとのことでした。ジャンさんは、僕が風

邪気味とメールしてたこともあって、「来れるスケジュールは、元旦?31日?」と聞いてくれました。それで、僕も一瞬、31日は、体を休めて、1日からしようかな……と心ひるみました。でも、31日の午後の方がトラクトを渡す伝道には効果的なのです。大みそかの日はパレードの見物席の確保が目的で、約12キロに亘って、6車線の沿道に約10万人が野宿します。(パレード当日に、100万人に膨れ上がります)その10万人の皆さんは、席を確保したら特にすることがなく、のんびりした雰囲気です。パレード直前の少し緊張感ある、またLAとは言え、冬の寒さの中での徹夜明けで疲れた人が多い、元旦の朝よりも、伝道パンフレットを快く受け取ってくれる方も多いため、「トラクト配布は、やっぱり31日だなー、ジョセフへの良い模範にもなるし。その結果、熱とか出たら元旦は休もう……」と瞬間的に思って、勇気を奮って言いました。「いつもの年のように、31日から行くから、31日のスケジュール教えて」「OK。明日は、(長男の)ジミーが責任を持つので、後はジミーから連絡させるね」とのことでした。前日の夜は、ジョセフの教育を助けてくれている知人のAさんたちが「風邪気味のお父さんへのお見舞いに。ローズパレード伝道、祈ってるからね」とジョセフにレモンをくれました。ジョセフが張り切って、ホットはちみつレモンを作ってくれ、それをたくさん飲んで寝ました。

## 主の山に備えあり

翌日、ジョセフと共に、「キリストにある圧倒的な勝利で帰ってこれるように」と、祈って出かけました。会場のパサディナ市に着き、合流地点のそばを何気なく運転していくと、他の皆さんの車が駐車している(その場所までは打ち合わせて無かったのですが)のをみつけ、スルスルとブレーキをかけて、駐車体制に入りました。そこで、ジャンさんの息子さんのジミー君から「今どこですか?僕たちも着いて駐車できましたので、場所をお知らせします」と、電話がかかってきました。



「キリストは私たちの罪を負われた」(1ペテロ 2:24)  
(ローズパレード伝道にて)

「すごいタイミング。みんなの車の後ろに着いたところだよ！」と答えました。いつもは混んでいて、駐車スペースを探すのに時間がかかります。合流も大変なのですが、すぐに出会えました。おまけに何と、伝道用の車の後ろに僕が停まれるスペースも、しっかり1台分、用意されていました。あまりにすべてピッタリで、何か神さまがにっこりと笑って、「大丈夫だよ。正しいことをしてるよ！」と、ポンと肩を叩いてくれたような、そんな「導きと応援」を感じたのでした。

## スキップしつつ

この日は、前日の小雨と強風と打って変わって、カリフォルニアブルーの快晴で、ぽかぽか陽気。路傍伝道でのトラクト配布には、絶好のコンディションです。主の山に備えありです。「良かったねー。今日、最高！昨日のような雨だったら、大変だったよね。こんな気持ちのいい午後だと、みんなも心開きやすいよねー」この時点では、僕もすっかり元気になりました。

約20人の皆さんが、3つのチームに分かれてスタート。僕はジョセフとペアで、歩道でイスや

マットレスを並べて場所取りをしている皆さんのトラクト配布を始めました。ジョセフは今年で3年め。「ローズパレードでトラクト渡して、伝道するんだよ」と、Aさんたちにも張り切って報告し、勇んでこの日を迎えました。最初から絶好調でスキップして進み、「どうぞ！」と元よく笑顔でトラクトを差し出すので、みんなも笑顔で接します。そして、ほとんどの人々が

「ありがとう！」と受け取っていきます。何人かの方が、あえてジョセフに聞きます。「これ、何が書いてあるの？」「(ジョセフ) 犠牲になったイエス様のこと。僕たちの犠牲になって十字架の上で死んだんだよ」「そうか……」また別の人が聞きます。「これ、何と書いてある？」「神さま……が……あなたを……愛していて……と書いてるよ」「グッジョーブ！よく読めたねー(^^)」。

## ジョセフが傷ついた時の会話

何人かの方は、「僕は必要ないよ。でもありがとう」と答えます。ジョセフは、気にせず、次々と渡していくので大したものと思ったら、途中で言いました。「たくさんの人、受け取らなかったよ……」「そんなことないよ。ジョセフが渡したら、ほとんどの人、受け取ってたじゃない？多分、20人に1人が、2人が受け取らないぐらいでしょう。ほとんど受け取ってたよ。すごいことだよ！」「そっかー」「受け取らない人がいると、がっかりして、そのことが心に大きくなっちゃう気持ちもわかるけどね。でも、今回受け取らなかった人も、きっと心の中では、キリストのトラク

ト、6歳の子から渡されようとして自分は断ったな……って、覚えているよ。本人は覚えてなくても、魂が覚えているさ。そしていつの日か、イエスさま信じる日が来るかもしれないよ。決して無駄になってないさ」「そうだね」「だから結果は神さまに委ねて、ジョセフらしくポジティブにね。誰にでも、喜んで渡すんだよ」「わかった(^^)」この日、ジョセフが渡したのは約300人。僕も多分300人ぐらいです。



ローズパレード伝道 楽しかったよ！（ジョセフ）

## ぶんなぐられそうなグループへのパスポート

僕が今年、感動したことの一つは、ギャングみたいないくつかの集団に配ったら、全グループの全員が喜んで、もらってくれたことです。6,7人から20人ぐらいの、いかにもそれらしいグループが7-8グループあったと思います。正直、それぞれ「ぶんなぐられそうな雰囲気だな」と一瞬たじろいだのですが、でも、「キリストの福音をもっていくんだ」と気を取り直し、謙遜に明るく、でも、キリストの大使としての凜とした勇気と愛を持って接したら、皆、喜んで接してくれました。「お前、キリストが必要だぞ(^^)」と笑って仲間に勧めたり、まじめに僕目を見て、「ありがとう！」と言ったり……。多分、キリストの福音というパスポートが無ければ、このようには接することはできなかったのでは……と思います。ローズパレード伝道への参加は、6年めぐらいで、毎年、神さまがコツを教えてくれてると思います。その中で、本当に謙遜に、でも凜として、神さまに頼って接していったら、「ぶんなぐられそうなグループでも大丈夫」ということが、今年、体験できて、本当に良かったです。

伝道終了後、みんなで、「チックフィレー」というファーストフード店に行きました。「チックフィレー」は、クリスチャンの信仰を明確にしながら、

アメリカ南部で、ビジネス的に成功している人気店で、最近、パサディナにも、オープンしました。(ロサンゼルス2号店)。オーナーの女性は、約3万人の応募者の中から選ばれた方ですが、僕たちにも明るくあいさつしてくれ、その中で、チキンバーガーを楽しく食べて、帰宅しました。ジョセフいわく、「わー、本当に楽しかったー。楽しい伝道だったー」そして鼻歌交じりに讃美歌を歌いながら、家に着き、感謝でした。

## ジャンさんのガン治療の奇蹟

翌朝は、午前4時起き。「(ジョセフ)起きれて良かったー。僕、起きれないかと心配したよー。寝過ぎしちゃうんじゃないかとね」「良かったねー」紺と紫とオレンジと白色の朝焼けの空を見て、「きれいだー、写真撮りたい。ダディの携帯貸してー」と元気でした。

現地で、ジャンさんたちと待ち合わせました。ジャンさんは、この夏、伝道チームを応援してくれているLAのクリスチャン医師から勧められ、検査したところ、第二段階のガンが見つかりました。長男のジミー君にどう思ったか、聞いたら、「最初は、普通のことのように『ダディ、ガンが見つかったよ』と子どもたちに報告があったので、余り、驚かなかった。でもさすがに手術の時は、リスクはあり、どうなるかわからない……」ということで、

心配した」とのことでした。幸い、11月24日に行われた手術は成功で、担当のB医師によると、「ほぼ85%大丈夫」とのことです。病院にはほとんど入院させない主義のアメリカなので、1泊2日だけで退院。少しずつリハビリを始め、約1ヶ月して、サンディエゴでの伝道にも3日間参加。でも、責任者としての参加は、今回のローズパレードが、手術後、初めてのことです。奥さんのジェニーさんは「昨夜は、ずっと眠れない感じで。朝まで、寝返りばかり打ってました」とのことでした。

「(稲葉)やっぱり緊張した?それとも、久々の伝道ということで、武者震いで、エキサイトという感じ?」「(ジャン)そうだね。まあ、緊張したかな……。 (百万人の観衆を対象にする)ローズパレード伝道の前は、毎年だけだね。」「そうか……。でも、そこまで回復して、本当に良かったね」「すべて奇蹟としか言えないよ。早期発見できたのも奇蹟だった。B医師に言われるまでは、がん検診なんて全然、考えてなかったし。それから、アメリカで最先端の手術をしているC教授を紹介され、それも神さまの奇蹟というか……。B医師が別室にいて、ロボット操作での最新の手術なんだ。ナイフは、ロボットだけが触る。その方法で、アメリカで最も多くの施術をしてる教授がC教授なんだ。そのC教授が、すごくうまくいったと言ってた。

手術費用も、9万ドル(約1000万円)というんだけど、支払ったのは180ドル(約2万円)なんだ。ジェイソン(三男)が糖尿病で毎月、費用がかかるので、家族保険に入れてもらってた。その保険がカバーしてくれたんだ。みんな本当に神さまの奇蹟としか、思えないよ……。1月7日からは、仕事でマンマーに出張予定も入れたんだ。A医師も、何やってもいいと言うしね」「すごいねー!」と神さまを讃えました。そして、「(ジャン)稲葉さんとジョセフは、いつものように自由にトラクト渡してきてね」とのことです。片道4キロ先のスタート地点を目指しての往復8キロ、徹夜明けでパレードを待つ人々に二人で、トラクトを手渡しで進みました。

## 備えの必要

去年は、ジョセフは、初日の8キロ伝道を経ての翌朝はさすがに疲れ切っていました。それで「(ジョセフ)明日はお休み」と言って、ジャンさんたちと別れたのですが、朝、出発しようとする僕を見てついてきました。ただし、再び8キロ歩くのが精いっぱい、去年の2日目は僕が一人で配っていました。でも今年は2日目も張り切って渡し始め、成長を感じました。

60代ぐらいの女性が、僕にも「中身を教えてほしい」と聞いてくれたので僕も喜んで話しました。「神さまは僕たちを愛し、特別な計画を与えているのですね。でも、みんな自己中心で、罪を犯し、神と離れ、地獄に行かなければならない。その罪は、誰も消せないし償えない。でもキリストが、私たちの身代わりになって罰を引き受け、死んでくれた。そのキリストを救い主と信じれば罪が赦されるのですよ」「そして、永遠の命が与えられる?」「そう。天国でのいのち」「体は滅びるけど、魂は生きるといことですよ?」「そう。そのためにキリストは十字架で死



「悔い改めて、イエスを信ぜよ」(マルコ 1:15)  
～ ガン手術を終えたジャン・ブローマンさん

んだ」「キリストは誰?」「キリストは神のひとり子。でも、僕たちを救うために、神なのに、人間として地上に降りて、十字架で死んだ」「キリストのお母さんは?」「マリアが産んだのだけど、マリアは、人間。でもキリストは神ご自身。僕たちの罪のために、身代わりになって死んでくれたんです。僕たちは信じる必要がある」「キリストが唯一の救い主?」「唯一の救い主。十字架で犠牲となって、自ら、代価を払ってくれた。信じる必要があります」「唯一の方ですか……。わかった。キリストを愛するよ……」ちょっと心の備えが足りず、もっと上手に話せたなと反省しつつ、その方への祝福を祈りました。聞かれた時のための、心の備えも必要……。次への教訓です。

## 聖句の行進

やはり60代と思われる、オレゴン州から来た男性は言いました。「さっき行った、黄色い聖書プラカードと同じグループ?あの聖書プラカードの聖書の言葉、いいね。とてもいいと思う」後で、ジャンに伝えると「聖書のことば、強いんだよね。聖書の言葉の力を信じて、肅々と静かに、行進して歩くだけだけどね。自分が前に出たの、自己満足の伝道ではないんだよね」

聖句プラカードグループは、聖書の言葉がきれいにデザインされた「たたみサイズ」(女性用はその半分)の立て看板を掲げての行進です。約30名が、3ヶ所に分かれ、それぞれ、8キロぐらいを担当します。まだ、パレードが始まる直前の観衆が鈴なりになっている通りを、20メートル置きぐらいに、聖句プラカードを掲げて静かに行進していきます。警察も、既に認知していて、何も言わないし、7年、8年と経ち、やはり、その展開も呼吸をつかんできたという感じで、今年は、なんだか、「(天国の)王の行進前の露払いグループ」という感じが出て、記念写真を求める人たちも多かったです。そのプラカードの前後を、ジョセフと僕はトラクト配布をしています。当日は、前日より少なく、ジョセフは100人ぐらいで手が冷たくなってリタイア。僕は200人ぐらい。二日

間の合計900人ぐらい。ジョセフに、出店で売ってた、大好きなジャガーの顔の帽子つきの手袋(1000円)を買ってあげると大喜び。聖句プラカードを追いかけてながら、歩いていくと、行く先々で、「He is cute!」と言われて、笑顔で手を振ってました。2日目も、「伝道、楽しかったー!」と家に着いての一言。神さまに恵まれた二日間でした。

## ピアノのロビン先生へのトラクト配布

ジョセフが「(ピアノの先生の)ロビンにも渡さなきゃ」というので、2日後のレッスンの時に、福音のトラクトを持って行きました。ロビンは、世界的なヒットを飛ばしたABBAの作曲もした人です。日本のエーベックスからもアルバムを出し、家には100万枚以上売れたプラチナディスク等が何枚も飾られている「エミー賞の審査員」&ポップス系の音楽大学の教授です。近所に住み、愛犬友達になり、「ご近所割引価格」で、ジョセフに教えてくれています。

ジョセフがトラクトを渡そうとした時、まだ、その前の生徒さんと話し中だったので、「ジョセフ、後で……」と言ってブレーキをかけました。でもジョセフの勢いは止まらず、さっそうと男らしく渡しました。「プレゼントだよ!」「あら、うれしい。何かしら?」「キリストの話だよ」「あ、そう」そして、前の生徒さんに続いて、ジョセフのレッスンが始まりました。ロビン先生の救いと共に、大胆に福音を伝えるスピリット、これからも守られ、強められていけばいいなと祈りました。

## 走ることで教えられたこと

1月3日、ロサンゼルススのダウンタウンで開催されたマラソン大会に、ジョセフは1キロレース、僕は、ハーフマラソン(21キロ)で出走しました。神さまから学ぶことも多く、二人とも大喜びで帰ってきました。1キロレースは、6歳~12歳までの参加で、200名出走中、20位と健闘でした。ジョセフは、1キロレースは、既に3大会に出走し、楽しめたので、今度は、5キロに挑戦したいとの



天国に目を向けて — 白馬セミナー

ことです(^^)。エミリは「次に、ジョセフが5キロやる時は、一緒に走ろうかな」と言って家族で、盛り上がっています。

僕の方は、事前に事務局に申告してた予測タイムを1分上回る、期待通りの走りが出て最高のうれしさでした。これまでの巻頭言でお伝えしたとおり、この2年、6-7回ケガをし、2-3ヶ月走れなくなり、そこから練習を再開して……の連続でした。単に走るだけでなく、人生において、いろんな苦難や失敗にどう向かっていくか教えられました。

走る目的は、もし神さまが許されれば、105歳まで現役の伝道者で生きて、その後、子どもたちに迷惑をかけずにさっと天国に逝く、強い体力と強い精神力作りです。また、走ることを通して神さまの秘訣を学んだり、栄光を現すことです。

参加者は6000人。コースは、LAのダウンタウンです。ハリウッドのオレンジの照明が漆黒(しっこく)の夜空にまぶしく輝く中、夜6時に出発します。高層ビル街を抜け、小高い山の上にあるドジャースタジアムに向かい、カクテル光線の中

の緑の芝生のグラウンドを駆け抜け、またダウンタウンに戻ってくる21Kmです。山のぼりが多いので、去年4月のハリウッドハーフマラソンの自己最高記録には及ばなかったですが、でも、神さまとの歩みやホームスクーリングライフに活かせる秘訣等、学びの収穫が多い強い走りができましたので、少し証ししますね。

### **努力は無駄にならず、ケガ・失敗で痛んでも、さらに強くなれる！**

まず教えられたこと、その1。ケガをしても失敗しても、あきらめずに反省し悔い改め、正しい努力を続けると、そこには「余りある恵みと学びがある」し、「克服すると、心も体もさらに強くなれる！」ということを実感できました。「順境の日には喜び、逆境の日には反省せよ。これもあれも神のなさること。それは後の事を人にわからせないためである。」(伝道者の書7:14)。失敗や苦しみがあって、慎重に反省することになり、神さまの贈り物だったと実感しました。「苦

しみに会ったことは、私にとってしあわせでした。私はそれであなたのおきてを学びました。」(詩篇 119:71)との喜びを、今回のレースで体験できました。あきらめないで、努力を重ねると、走力が戻ったことを実感し、反省点や弱点に気をつけ、強化したことによって、精神面も含め、体全体が、強くなるという体験ができました。

去年、サマーキャンプで足の指を骨折してから4ヶ月、多忙もあって本格的には走る練習ができませんでした。その前の4月末には木から落下して、ほぼ半日分、記憶喪失になる背中と腰の強打で、約2ヶ月半、6月末まで走れませんでしたし……。最初は、もちろん、走力は落ちています。それでも、12月に帰国してから、少しずつ練習を始めると、タイム的にも、前のように走れるようになっただけでなく、以前の練習の積み重ねが、無駄になってなく、さらに上に行けてるんだということが、体でわかりました。神さまの計画は完全です。「私の愛する兄弟たちよ。堅く立って、動かされることなく、いつも主のわざに励みなさい。あなたがたは自分たちの労苦が、主にあってむだでないことをしているのですから。」(第一コリント 15:58)とある通り、主に結びつき、主にあって成したことは、無駄になっていないということをおもいました。ピリピの手紙2章16節「こうしてわたしは、自分が走ったことが無駄でなく、労苦したことも無駄ではなかったと、キリストの日に誇ることができるでしょう。」と言われているのと同じです。そのことを早速、闘病中の父に分かち合うことができました。

### **父との会話「前の努力は無駄にならないよ。筋肉は無くなるのは早いけど、あきらめなければ、復活するのも早いよ！」**

父は、脳梗塞と心臓発作で、何度か倒れ、多くの皆さんに祈っていただいています。東日本大震災の最中に腰を痛めたことから、足が不自由になって腰が曲がり、高かった身長が小さくなっていました。お正月のあいさつの電話をすると、「外に出る時は、完全に車椅子になってしまったんだ。

こんなに急激に、だめになるとはなー」と少し悲しそうで、元気がありませんでした。父は高校時代、相撲部で東北大会に出たり、大学院時代は山岳部で、全国の山々を駆け上がる健脚でした。

父の声を聞きながら、今回のマラソン体験が心に浮かび、話すことができました。「お父さん、大丈夫だよ。確かに、筋肉はあつという間に衰える。僕もケガした時は、一気に衰えた。でも、この2年間、ケガと復活を6-7回ぐらい繰り返してわかったけど、前に鍛えた筋肉は、正しくリハビリすれば、早く戻るとのことだよ。決して、無駄になってないよ。お父さんは、お京が亡くなってから(17歳の時、喘息で急逝した妹)、25年余り朝4時起きで、ほぼ毎日、往復8キロ歩いて、お墓に掃除に行ったでしょう? 25年続けた運動は無駄になってないよ。あきらめないで歩き続けて。今は雪で外は無理だろうから、家の中でいいから、一步でも多く歩いて! 筋肉、落ちるのは早いけどあきらめないで、一步でも多く歩くという正しいリハビリを続ければ、戻るのも早いよ」「そうか……。それは励まされるなー」「イエス様に、お父さんの筋肉が、ますます回復するように祈ってるよ」と伝えました。その後、父は、いくつかの僕からの相談事に、すらすらと元気に答えてくれました。(父は脳梗塞に2度あったものの、幸い、思考力等への障害はまったく無く、今も僕の大切な相談役の一人です) 父の救いと回復をお祈りいただければ幸いです。

### **金剛石の心**

マラソンの号砲が鳴る直前、「苦難や失敗があっても、神さまにあって、すべて益とされ、さらに強い走りができ、神さまの栄光を現せますように……」と祈ってスタートしました。走ってたら、その通り、神さまのあわれみと反省の中で、「すべてが益と変えられた」と実感できました。2年前にケガをしたふくらはぎ下の筋肉等は、その後3度、ケガを繰り返しました。でもストレッチに気をつけたり、強化していく中で、痛まなくなりました。失敗したりケガをしたり、苦しい時期を体

験し、スムーズにいかないで、ぎりぎりまで追い込まれ、神さまに、「知恵の心と判断する心」（1列王 3：12）を必死に求めて走りました。神さまは、「走る」ための対策を教えてください、でもそれは、体だけでなく、「火打石より固い、金剛石の心」（エゼキエル 3：9）を、少しずつ、与えてくださっているように感じています。

## 世界一過酷なレースを経て得た鉄の心

苦しみを経て「鉄の心」が与えられていくとの言葉を、山岳（トレイル）マラソンの日本のパイオニア、鏑木毅（かぶらぎつよし）さんという方が実体験をもとに書かれていました（「アルプスを越えろ！激走 100 マイル— 世界一過酷なトレイルラン」（新潮社））。ヨーロッパの最高峰、モンブラン山を夜、眠らないで160キロ走破する世界的なレースがあります。鏑木さんは、この数年間、その大会でベスト10に入り続けています。小さい頃は「つよし」ではなく、「弱し」といじめられ

て育ちます。マラソンは得意で、学生時代は早大競走部で、箱根駅伝を目指します。しかし2年間の浪人生活や、足のケガの連続で箱根を断念。その後退部し、走る人生に終止符を打ちます。失意の中で県庁就職後、軽い気持ちで山岳マラソン大会に出て目覚めます。駅伝やマラソンでは、まったく日の目を見なかった学生時代のトレーニングが、思いがけず山岳マラソン界で活かされます。以後、日本でブームが訪れかけていたトレイルマラソン界の第一人者の道を駆け上がります。日本のチャンピオンともなり、賞として、トレイルマラソンの世界の最高峰、「ウルトラトレイル・デュ・モンブラン（UTMB）」の参加資格が与えられます。

鏑木さんにとっても不眠でアルプスを激走するこの世界大会は、別格の「苦しさ」の中でのレースです。走行距離はモンブラン山系の160キロで、シャモニー（フランス）を出発し、イタリアとスイスをまわってシャモニーに帰還。コースには、モンブラン山系の大小の尾根の上り下りが多数含まれていて、上り分だけを累計するとエベレスト以上の高度（約9000m）を、高速で駆け上がることになるレースです。2回目の挑戦で、3位に入賞しますが、そのレースをきっかけにケガが襲い、翌年、翌々年のレースでは、痛みで失神しそうになりながら走り続ける地獄の苦しみを体験します。それでも、10位、7位と入賞します。

鏑木さんは、病気やケガでは無理せず、レースはやめるべきと考えています。でもその時のケガは、途中でやめるべきではない「理由」と「心の変化」が与えられたと言います。それまでの「ただ競争するレース」から自分の意識の変化です。「これは単なるレースではない。自分を試す旅」「今は、競争より『自分』、タイムより『自然』を強く意識して走っている」。順位や時間が目的で走らなくなり、自分を見つめ直すレースに変わったということです。そして、何とか、ゴールした後で、得たものは、「鉄の心」。ケガの中での難コースで、苦しみながらも、「それを越えたからこそ、これからの苦難をものとしめない、「鉄の心」が与えられた」と言います。聖書的に言えば、物事に偶然はなく、「神さまが、



「知恵の心と判断する心」（1列王 3：12）  
LA ハーフマラソン（ドジャースタジアムにて）

苦難と訓練と、そしてもし信じることをあきらめずに、神の言葉と導きに従っていけば、克服する力が与えられる」、そのプロセスと重なるな一と思っ

て読みました。

## 積極思考はウソ

注意すべき点としては、今回のランを通して、もちろん、ただあきらめないで、積極的に取り組み続けられれば何でもできるみたいな、いわゆる「積極思考」を教えられたわけではありません。「積極思考で何でも叶う」というのは嘘です。どんなに積極的に考えても、一日の時間は24時間以上増えないし、人間は誰しも肉体的には死ななければなりません。だから、「積極思考をすれば事が成せる」というのは嘘です。神さまの御旨によって事はなるし、また、神の御声に従って歩む時に祝福されていきます。

肉体は鍛えても衰え、いつかは走れなくなるわけです。でも、体の鍛錬には意味があります。聖書でも、肉体の鍛錬もいくらか有益とあります。また、肉体の鍛錬を通して、人を恐れず神を恐れ、愛する心の鍛錬にフォーカスしていくならば、深い益をもたらすことを聖書は強調しています。「敬虔のために自分を鍛錬しなさい。肉体の鍛錬もいくらかは有益ですが、今のいのちと未来のいのちが約束されている敬虔は、すべてに有益です。このことばは、真実であり、そのまま受け入れるに値することばです。」(1テモテ 4:7-9)

優先順位は、「神への心」にあります。キリストに焦点を合わせている時に、肉体の鍛錬を通して与えられる「金剛石の心」もすごくいいので、神さまにお願いしていきたくと思っています。

## エゼキエルも強い心が必要だった

この世は、聖書やキリストの言葉に背を向ける、暗黒の状況にあります。私たちは、強められ、そして、「火打石よりも固い、金剛石の心」が与えられる必要があります。「金剛石の心」が神さまから与えられる預言者エゼキエルの書は、反逆の民に

遣わされるという神さまからの召命から始まります。「わたしはあなたをイスラエルの民、すなわちわたしに背いた反逆の民に遣わす。彼らもその先祖も、わたしに背いて今日に及んでいる。彼らは厚顔で強情な者たちである。わたしはあなたを彼らに遣わす。あなたは彼らに『主なる神はこう言われる』と言いなさい。」(エゼキエル 2:3-4)

エゼキエルも傷つきやすい心を持っており、強い心が与えられる必要がありました。福音を拒絶する文化の中で、神の福音を雄々しく運ぶために、神さまはエゼキエルに聖書を読むことを命じ、そして、「火打石よりも固い、金剛石の額」をエゼキエルに与えます。「わたしはあなたの額を、火打石よりも堅い金剛石のようにする。彼らは反逆の家だから、彼らを恐れるな。彼らの顔にひるむな。(エゼキエル 3:9)」

ケガから明けて、ハーフマラソンを走りながら、体だけではなく、「キリストの福音」をより良くバトンタッチできるように、さらに強い心を与えられている……そんな気がしました。

## レースプランをしっかりと立てる

今回のハーフマラソンで第二に学んだこと、「レースプランをしっかりと立てる！」そのことを実体験できました。走れない時に、しっかりと勉強できたこと、それも活かせました。「熱心だけで知識のないのはよくない。急ぎ足の者はつまづく。」(箴言 19:2) 去年4月に出走したハリウッドハーフマラソンでは、中盤まで快走でした。でも18キロを過ぎた時には疲れがどっと出て、20キロのころは「倒れそう！」と思いながら、最後の1キロを走りました。

その1ヶ月前、初フルマラソンのLAマラソンでも、18キロ後、失速しました。

昨年3月中旬の「チア・ジョイランニング」で、真央コーチにそのあたりの「LAマラソン体験」を聞かれました。話してたら、そばで聞いていたチアの若者たちに笑われました(^^;)。

「前半、すごい快走だった。15キロ走はよくやっているので、そこまでは絶好調で、これだ

と4時間切れるなー、もしかすると初マラソンで3時間30分とか切れるかも……と思っていた。でも、18キロあたりで、いつも走っていない距離になって、調子が変わってきたので、その後、スピードを……」「(チアの若者たち。すごいなーという感じで)18キロあたりで、落としたわけですか?」「うーん、落としたというか……。自然に落ちていったというか……」「(チアの若者たち皆で笑う)あははは。自然に落ちていったんですか……。 (笑)」そのあと、41キロまでは、倒れそうになりながらの苦しい走りでした。最後1キロで通りがかりの50代の男性、今思えば、天使だったのかな……と思えるような人が、通りがかります。道端で苦しみながら、足のストレッチをしていた僕に声をかけてくれました。「ストレッチ、手伝ってあげるか?」「ぜひ!」「じゃあ、ちょっと横になって」僕は、言われるままに道端の芝生に横になり、名も知らない男性が僕のつま先を持って、ストレッチしてくれました。「ありがとうございます」それから、走り出したら、足の痛みはまったく消えていて、突然、元気になっていました。最後の1キロからゴール前まではがぜん、快走で、元気にダッシュしてゴールできました。

こうした不思議な体験をしつつ、「18キロで、失速するのはなぜだろう……」との反省から、医学博士が書いた本も含め、いろいろな本を読んできました。すると、「ペース配分」の記事をいくつか読めました。前半、半分の距離21キロ(ハーフは約10キロ)は抑えて、3分の1のエネルギー消費で走る……。次の18キロ(ハーフは8キロ)は、次の3分の1で走る、そして残り3キロ(ハーフは2キロ)は、残った3分の1のエネルギーで走るとエネルギー効率が良くて(有酸素消費と違って脂肪で走ることとなり)、筋肉が動かなくなる「乳酸」がたまらなくなるという医学的な根拠も書かれてありました。

### ペース配分に成功!

この「ペース配分」を、12月20日の「マジックマウンテン10キロマラソン」で試してみまし

た。そうしたら、確かに、良かったのです。今回のハーフも、今年3月のLAマラソンや、去年はケガでベッドの中で欠場し、今年の当面の目標としている5月のロングビーチマラソ



ンのための練習として、失敗していいので、と思って試してみました。前半、後半と、はやる心や、ここで飛ばしてタイムを稼いでおかなくては……と、焦る心を抑えました。「3分の1に抑えておこう!」「今、早く走らないとゴール時点のタイムが遅れるのではと、恐れないで……」と自分の心にブレーキをかけて。そして、最後にスパートやってみたら、見事に大成功。前にハーフやフルで体験していた乳酸がたまって足とかが動かなくなる状況が全然、来なかったのです。最後、スパートの開始の判断が遅れ、ゴール前600mでスパートしました。そうしたら、全然、余裕で、30人ぐらいをさっと抜けたのでした。

長期的なゴールをしっかりと見つめた、「ペース配分」の大事さを学んだと思います。HSも、神様との歩みも、前半ダッシュで焦ったり、一喜一憂しないで、長期戦と構えて、論理的に対応していくことの必要を改めて、教えられたと思います。たとえば、一所懸命、教えたのに、子どもの成長や変化がすぐに見えない場合とか、焦らないこと。ホームスクーリングのペースも、最初から全力疾走しないこと。これは、20年余りの超ウルトラマラソンなので、最初は、意図的に、ゆっくりペースに抑え、やるべきことをしっかり淡々と進めていくこと。実が顕著でなくてもあきらめず、今、

続けてることは後で実を結ぶと信じ、このまま、神さまの御声に従い、歩みの方向がそれなければ、途中、トンネルや台風や大寒波の冬の時代があったとしても、「主にあつての圧倒的な勝利」で天国での勝利を結べることを教えられていきました。

### 良きアドバイスを聞き、 悪いアドバイスは聞かない

もちろん、ペースは、全部、自分で考え抜いてということではなくて、神さまの指示とペースを仰いで……ということですね。また、良きアドバイスを聞き、悪いアドバイスを聞かないことも大事と思いました。他者からのアドバイスも聞けばいいというわけではありません。ソロモンの子もたちが、事情に通じたベテランたちのアドバイスを聞かず、自分の好むお友達の悪いアドバイスを聞いて、失敗し、国が分裂しました。そのプロセスで、信仰を失い、神さまからの祝福を失っていったように、ならないということですね。今回のペース配分の話は、「市民ランナーの星」の川内勇輝さんや、多分、今、日本で最も用いられているマラソン指導者の金哲彦さん、また、最近、読んだのですが、「チア・ジョイラン」コーチの真鍋未央さんが読売新聞の連載記事に書いたりしている、共通したアドバイスでした。著名人だけでなく、インターネットで見た無名のランナーたちの理にかなったと思えるアドバイスも効果的でした。

上記の通り、良きアドバイスを受け、聞きわけることができるように、「知恵の心と判断する心」(1列王 3:12)も与えられるように祈り続けていますが、知恵が与えられ、聞きわけの心が与えられていったのは、その祈りの答えかなーとも思いました。ホームスクーリングの歩み、人生の歩みにおいても、悪いアドバイスに耳を傾けず良いアドバイスを聞きわけていけるように、「知恵の心と判断する心」が与えられるように、この事も今回のハーフマラソンを経て改めて思い、祈っているところです。

### 上りの坂道は歩いてOK、 下りでスピードアップ

精神的に焦らず、理にかなって坂道を走るということも、今回、体験できました。去年の3月、LAマラソンの前日、ゼッケンをもらいにいった時に、会場で有名なランナーがセミナーをやっていました。ちょっと立ち聞きしたら、「上り坂で、どうして必死に走るんだ。多くの人が、そこで無理してエネルギーをロスしている。無理しても、歩くのとそんなに時間は変わらない。そこは歩いていいから、エネルギーを貯めて、下りで休みながら少し早く走り、あとは平地でエネルギーを使えばいいのに」その話を聞いて、今回、僕は、上りの坂道で、歩くことを実行してみました。僕の走るグループは、上位15%〜30%ぐらいの人たちなので、トップランナーではないです。でも、日ごろから走りこんでいる人たちや、かつての陸上部の人たちが多いです。脚力があるので、坂道も苦労しながらだけど走っていきます。ドジャースタジアムの丘の坂は長く急で、たくさんあり、僕が歩いていると50人、時には長い坂で80人ぐらいに追い越されます。でも、その後の下り坂で、それまで歩いて休養十分の僕はトップギアで走れます。一気に、僕を抜き去った50人や80人を、次々と追い越していきます。翼をもらった天使のごとく、すいすいです。

今回のハーフでは、坂が多く、そのことを、意識的に連続して試してみました。やはり、セミナーの講師が言っていた通り、ゴール到着時には、多分、同じぐらいの走力の80人ぐらいの人々、その皆さんは、上り坂では、僕を追い越していった人々ですが、ほぼ全員を追い越してゴールインできました。良きアドバイスをもらったなーと思いました。「焦らずに理にかなって走る、時には歩いて休み、走れる時に備えて、進む」これもHSや神さまとの歩みで活かせるなーと思いました。

### 弱点がわかれば強化できる

もちろん坂も、いつまでも歩くということでは

ないでしょう。次のレースでは苦勞なく坂道も登れるように、今回、弱かった点を鍛えればいいわけですね。山道での筋力トレーニング走とかです。「山登りトレ」は、心に平安があります。なぜかという、過去の成功と失敗体験があり、立ち直るリサーチで得た情報と実体験があるからです。

1年半前、その時は、ランニングを始めて半年が経ち、体はどんどん、ランニング仕様になっていました。さらに上のレベルをめざし、山岳（トレイル）マラソンに挑戦し、何回か練習したら、とても楽に上れるようになりました。下り坂で、その時は、山で10キロ走をされていて、情報を良く知らないまま、1キロ3分というトップスピードで駆け下りました。ゴール手前で、さらにダッシュした時に、3ヶ月の休養を要する足の筋肉の断裂がありました。その後、本を読んで、理由がわかりました。僕の筋肉は年齢と共に劣化し、半年の訓練で良くなってはいたものの、まだ、山岳10キロ走と1キロ3分でのスピードの疲労に耐えるレベルには、至ってなかったわけです。かつて運動部系で自信がある人が、40代、50代で筋肉が老化しているのに、急に運動を始め、10代の自分と錯覚し、過酷な動きをし筋肉を断裂させることが、しばし起こるそうです。僕のケースは、まさにこの事例だったと思います。

高校時代は、年間360日は、甲子園を目指す野球部で過酷な日々でした。体は鍛錬されていました。その筋肉は30数年の時間を経て、劣化していました。でも、心のイメージだけは甲子園を夢見た当時のままだったわけです。

今度は、そうした失敗も活かして、山岳トレは、無理せず、ちょっとずつ行っています。この調子でケガさえしなければ、きっと今度のLAマラソンでは、坂道も楽に走れるようになるかな……結果として、かなり走れるかなーと思っています。

ホームスクーリングライフでも、自分たちの弱点で焦らず、神さまにあって、理にかなう方法で少しずつ強化したら、さらに強くなる……と歩まされています。マラソン以上に、きっと神さま助けてくれる！と、教えられています。

## ただただ感謝！

そして第三には、「感謝」。本当にこのように走れることはこの2年のケガで走れない期間を考えたら、それだけで感謝です。そもそも、2年前は、1キロ走ってもぜいぜいだったのですから、ハーフマラソンやフルマラソンは、夢の夢でした。まったく感謝です。当時、チアのスタッフに、ランニングを始め、距離やタイムが日ごとに伸びていることを伝えました。その時、「そのうち、ハーフマラソン目指すとか言い出しそうですね」と言われたことを懐かしく思います。ハーフも、フルマラソンも完走が許され、今は、いかに走るかという段階です。今回、ゴールした後は、「まだ、20キロぐらいなら、楽に走れちゃうなー、スパート、遅かったなー、もっと早くスパートすればよかったー」と思うぐらい、全然、元気でゴールできました。

これは、神さまにただただ感謝でしかありません。また、このような日々を許してくれた家族の理解、また、チア・スタッフたちや多くのチアのメンバーの皆さんの応援も大きく、感謝が尽きません。

今回、残り、600mで全力走する力が出たのには、もう一つの理由があります。ハーフマラソンの号砲の2時間前、1キロキッズランがあって、ジョセフと、親子ランということで、そのコースを一緒に走ったからです。「あ、ジョセフとさっき走ったところだ。あと、600mだけだ！」と、わかって、がぜん、力がわいたのです。これは、「父の心を子に向け、子の心を父に向けて……」（マラキ 4：6）と子育てを一生懸命やった神さまからのご褒美かも……って思いました。もしジョセフと一緒に走っていなければ、ゴールまでの距離もわからず、スパートする力も出なかったでしょうから。スパートしても、全然、呼吸等、平気だったのですが、もしスパートしてなければ、そうしたうれしい余力感も、わからなかったと思います。その「余力感」は、次のフルマラソンへの「希望」の力になります。聖書の命令に「ハイ」と答えて、知恵を求め、覚悟して指示に従っていけば、



我が家の恒例、クリスマスハイキングにて  
真祈史（22）とエミリ（18）とジョセフ（6）

神さまからの思いがけないご褒美もあるよ……ということをお教えされた気持ちもして、これも今後に活かせるかな……って思いました（^^）。

## エミリへの合格通知

神さまの恵みの中、白馬期間中に、長女エミリ（18）に奨学金付きで、アズベリー大学合格のお知らせが届きました。皆さんのお祈り、神さまの恵みを心から感謝しました。アズベリー大（ケンタッキー州）は、現在、CBS テレビでプロデューサーをしているザン・タイラーさん（「子どもの可能性を伸ばす7つの秘訣」著者）の娘さんが卒業した、メディアに強い大学です。アメリカに帰国後も、現在の第一志望のバイオラ大学が、さらに大きな奨学金付きで合格、またクリスマスには、当初の第一志望で、クリスチャン系大学で、偏差値的には、最難関と言われるウィートン大学の合格と、立て続けに合格通知が届き、これまでエミリを直接支えてきた妻の和紀子をはじめ、家族みんなで喜びました。本人は今のところ、ウィートン大（シカゴ）ではなく、バイオラ大に進学希望です。宣教学と福音的な映画を学びたく、バイオラ大の映画学科はクリスチャン系ではトップで、ハリウッドや家にも近い等の理由からです。聖書教育や宣教でも成果を出し、また奨学金が出るため、経済的な負

担も少ない点も考慮してくれてます。5月までに決断すればよいので、まだ、時間もあります。続けてご指導と、お祈りいただければ幸いです。

今年を受験生の皆さんも、今ちょうど受験の時期ですね。この前のセンター試験の時も祈ってました。主がベストのところに導いてくださるよう共に祈っていければと思います。

## 使命に生きる圧倒的な勝利の1年へ

2015年、山あり谷ありでしょうが、主のあわれみにより頼み続ければ大丈夫。平安と将来と希望の歩みでしょうと信じています。「私はキリストとともに十字架につけられました。もはや私が生きているのではなく、キリストが私のうちに生きておられるのです。いま私が肉にあって生きているのは、私を愛し私のためにご自身をお捨てになった神の御子を信じる信仰によっているのです。（ガラテヤ 2：20）」

既に死んだ自分のアイデンティティに気づき、神さま以外、何事も恐れず、子どもたちの魂の救いと育成という強い目的に向かって、悔い改めつつ、雄々しく、歩いていければと思って祈っています。「私にとっては、生きることはキリスト、死ぬこともまた益です。」（ピリピ 1：21）生きることも死ぬことも最善。私たちに与えられた使命がある限り、主にあって使命に生きていける圧倒的な勝利の明るい1年が待っていると思います。皆さま、今年もどうぞよろしくお祈りいたします。皆さまへのますますの祝福を祈っています。

感謝しつつ

稲葉 寛夫

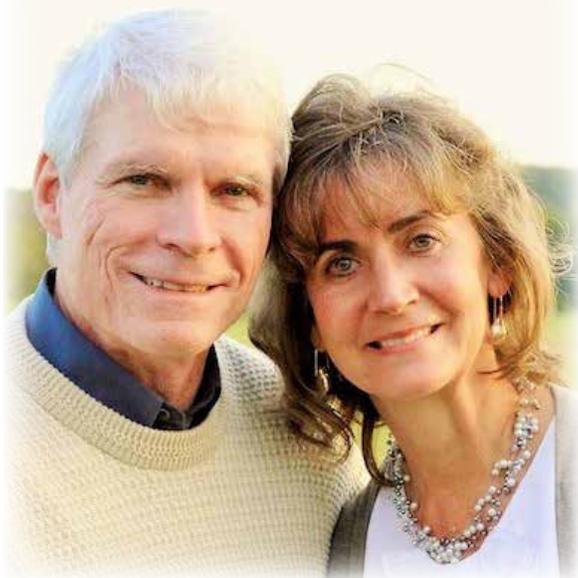
# チア・コンベンション 2015

**大阪：6月5日（金）、6日（土）**  
**大阪府羽衣青少年センター**  
 （大阪府高石市羽衣公園丁）

**東京：6月12日（金）、13日（土）**  
**国立オリンピック記念青少年総合センター**  
 （東京都渋谷区代々木神園町3-1）

**家族・教育の聖書への回復！ どなたでも大歓迎です！**

昨年参加 740名！ 講師約30名、約80の基調講演・分科会！  
 コース向けセッション増設！ 聖書が教える教育の本格派コンベンション！



主講師：ノーム・ウェイクフィールド

夫婦・家族のコミュニケーションセミナーが大好評。2003年白馬セミナー、2004年大阪コンベンションに続き、11年ぶりの再来日。

ダウン症の娘、アマンダを含む4人の子供をホームスクーリングし、現在、アマンダがミニストリーのスタッフとして助けている。

エリヤ・ミニストリーズ代表。

## 第6回 チア・にっぽん杯 絵画コンクール

<応募要項>

- テーマ**：聖書のストーリーから題材を取り、自分のイメージを絵画にしてください。
- 部門**：（1）幼稚園の部 （2）小学生の部  
（3）中高生の部 （4）一般の部
- 作品のサイズ**：自由（※作品の裏に、氏名（フリガナ）、住所、学年、年齢、性別、電話番号、絵のタイトル、その絵を描いた理由（100以内）をお書き下さい。
- 応募締切**：5月20日（水）

## 第4回 聖句書道 掛け軸展

<応募要項>

- テーマ**：聖書からのテーマを  
もとに、内容は自由。
- 対象**：どなたでもOK!
- サイズ**：八つ切りサイズ
- 応募方法**：作品に名前を書き、  
掛け軸に貼った状態でお送り  
下さい。

## 大阪宿泊情報

### ■大阪国際ユースホステル（会場内）

（4月30日までに、チアにお申し込み下さい  
【定員24名】。それ以降は各自でのご手配をお願いいたします。）

【6名一室：基本的に男女別（乳幼児は別）の相部屋ですが、6名であれば、家族部屋をご用意できます。】

※6名未満での個室をご希望の場合、個室料金がかかります。

- 宿泊費：1泊2,880円、2泊5,760円  
（添い寝の乳幼児は大人1名につき1人まで無料ですが、施設利用料として300円がかかります）
- 食費：朝食 650円、昼食 650円、  
夕食 1,080円

## 東京宿泊情報

### ■国立オリンピック記念青少年総合センター

（5月30日までに、チアにお申し込み下さい。  
それ以降は各自でのご手配をお願いいたします。）

【4名一室：基本的に男女別の相部屋です  
（乳幼児は別）】

- 宿泊費：1泊3食 3,350円（予定）  
2泊6食 6,700円（予定）

【シャワー付き個室】

- 宿泊費：1泊3食 4,910円（予定）  
2泊6食 9,820円（予定）

※年齢に限らず、ベッドを利用する場合は宿泊費がかかります。

※※添い寝の場合でも、レストランの規定で、3歳以上は食券代が必要です。

# 昨年のコンベンション アンケート♪

\*\*\*\*\*大人\*\*\*\*\*

●霊的にも、教育の情報としても、大変恵まれ、励まされました。今まで気付かずにいたけれど本当は必要としていた情報を、愛を持って、タイムリーに伝えていただき、主は、ちっぽけな我が家をもいつも見て、導いて下さっていることを、改めて、驚きと共に実感しました。講師の方々のレクチャーの内容は、大変質が高く充実したもので、今後一層多くの方が導かれますように祈っていきたくと思いました。（東京 伊澤恵美）

●とりなしの祈りのセッションで、最後に2人のお母さんたちが、涙ながらにご自分の抱えている思

いをシェア。自分も、また多くの方々もうなずきながら聞いていた。そうそう、私もそう、うちもそう…。すすり泣きが聞こえる。多かれ少なかれ、同じような苦しみを抱えながら、それでも、やっぱり神様見上げて行こう、この道を行こう、と思っているんだな…と。最後は、主にある希望が与えられ、みなさんのお顔も、晴れやかにになりました。

（神奈川 南雲恵理子）

●いつもコンベンションや白馬などに参加するたびにホームスクーリングを通して原点に帰らせてもらっています。ホームスクーリングをしていなければ受けられない恵みだな、と思いました。参加するたびに我が家が小革命を起こし

ている気がします。もっと子どもたちを祝福するように意識し始めました。（東京 志賀信泰）

\*\*\*\*\*LIT & こども\*\*\*\*\*

●“あなたは死ぬ直前まで神様を愛し、証してきた”と言えますかという問いが、心に残りました。今こうしてホームスクーリングをしているのも、健康な体でいられるのも、もっと言えば生きているのも、全て神様の恵みであり、本当に感謝なことだなと思った一方、自分は将来、イエス様を伝えたいな、とも思いました。

（飯島真珠 16歳）

●去年から楽しみにしていた。チルミニも充実していたし、賛美もとても楽しかった。また、いつも会えなかった友達に会えてとても嬉しかった。また来年も楽しみに待っていたい。

（佐藤信希 11歳）



# 第2回！ 4月6日（月）台東リバーサイド陸上競技場！

## 昨年大好評！チア・ジョイランニング with

## 真鍋未央さんのワンデークリニック

### やめたくなったらどうするか ～スタミナをつける練習法～

■時間：10時00分スタート（9時開場・ボランティアの皆さんは8時50分集合）

■交通：浅草駅（浅草線・銀座線・都営線ほか）から徒歩12分  
（隅田川沿い散歩コース）。駐車場、路線バスあり。

■参加費：1,000円（中学生以上）、700円（小学生）、300円（1才～幼稚園以下）

※参加費には保険料が含まれます。応援団・講演参加の皆さまもよろしくお願ひします（^^）。

■申込締切：3月27日（金）

■ボランティア募集：5K外周誘導係・記録係・チルランアシスタント・撮影・テント貼りほか多数募集！

どなたでも  
大歓迎！

#### 特別講師：真鍋未央（まなべ・みお）

SWACランニングアドバイザー。前資生堂ランニングクラブ。市民ランナーへの指導のほか、全国各地の大会でペースメーカーや、雑誌・CMでランニングモデルを務め、走ることの楽しさを伝えている。読売新聞「挑め！フルマラソン」執筆（全20回）。『週1回のランニングでマラソンは完走できる』著者。フルマラソン自己ベストは2時間55分27秒。



#### <午前の部>

- 5キロ（カットタイム1時間）
- 親子ラン 50m（1-3才）
- 100m（4-6才）
- 200m（6-8才）
- 600m（8才以上・12才以上の部門有）
- 1500m（5KとW参加OK。  
カットタイム10分）

#### <午後の部>

- 真鍋未央さんの講演&グループレッスン
- 藤井一朗・チア・オリンピック委員長の「跳び箱」特別レッスン
- 1500m・アフター真鍋さんレッスン

\*全種目男女別表彰

\*1500m表彰は2回の合計タイム  
(11才以下、30才未満、30才以上 3部門)

#### チア・ジョイランニング & 真鍋未央さんのワンデークリニック 参加申込書

FAX 03-6862-8648 Eメール office@cheajapan.com

ふりがな  
代表者お名前

( 才 )

お電話 / 携帯

ご住所 (〒 )

大人（中学生以上） 1,000円 × ( ) 名 小学生 700円 × ( ) 名

1才～幼稚園以下 300円 × ( ) 名 0才 0円 × ( ) 名 合計 ( ) 円

お名前（ふりがな）

お名前（ふりがな）

お名前（ふりがな）

男 ・ 女 才

男 ・ 女 才

男 ・ 女 才



# 白馬セミナー 2014

## アンケート No.1

\*\*\*\*\*大人\*\*\*\*\*

●今回の白馬セミナーは、私たち家族にとって、とても特別な時となりました。様々な事情でしばらくセミナー等に参加できずにおりましたが（最後に白馬セミナーに参加したのは2008年でした）、また今回も本来参加出来ない状況におりましたが、チアのニュースレターとマガジンを読んで「行かなきゃ！」と思って祈ったら神さまの憐れみによって道が開かれました。今回の基調講演、分科会を通して、またお交わりを通して、初期の頃の情熱を思い出し、自分の無力さに落ち込みがちだった心に再び希望の光が灯されました。示されたことも多くありました。ただただ神様とチアの皆様に感謝で一杯です。

デボラ・ベル博士の講演では、自分がいかに学校を意識して日々のホームスクーリングをしていたか、また子供達の学習の進歩を同じ学年の学校の子供達と比べてしまっていたかということを示されました。もっと「学校」から自由になり開放されて良いのだ、そしてもっとも大事なことを中心に、学習はもっと自由な形で良いのだと思いました。また、自由研究や自由課題を発表でき、様々な分野のエキスパートから学んだり、イエス様であって真のリーダーシップを育てることができるよう場の必要性を覚えて主人と祈り始めました。さいたま市を中心とするような集まりを始めたいと考え祈っています。

本当にたいへんだと思います。が、スタッフの皆さんに心からお



働きを感謝しています。どれだけ励まされ力を頂いていることでしょうか！私たちも、もっともっとこれからチアに関わっていきたくと願っています。（匿名希望）

●ものすごく励まされ、やはり来て良かったです。

デボラさんの娘さんの話はすごく励まされました。ジョイスノウエさんの分科会は具体的な助けやクリエイティブなアイデア、子どもをどの様な視点で見るかを改めて確認させてもらい、勇気付けられました。この分野の助けは日本ではまだまだ必要であり、チャレンジを抱える子を持つホームスクーラーが日本の国で神の希望を差し示す光になるのではないかと。神がご自身を日本人に分かせる為のご計画に用いられるのではないのでしょうか。（匿名希望）

●デボラさんのメッセージは本当に我が家にとってタイムリーなものでした。娘に起こっている現象が決して尋常なものではないこと、そして私たちがやってきたことが間違っていなかったことを確認できました。あきらめなくて良かった、途中で投げ出さなくて良かった。忍耐してきて良かった。主よ、感謝します。そして今年も親友とプレイヤーハイキングを素晴らしい青空の下実行できました。ただただ感謝です。（匿名希望）

●息子夫妻に是非参加して欲しいと言われての初参加でした。私自身孫をHSでやっていくことに不安を感じていました。その意味で少し理解出来ました。生半可な私の信仰を認めざるを得ません。裁き、天国に対してのイメージをしっかり持ちたいと思います。





若い時から強い目的を持ってこれからの人生を主のご計画に導かれて生きていく、生かされていく、勝ち取っていく、その時々が必要を感じつつ企画されるのだと思います。スタッフの皆様、ご奉仕に感謝致します。(匿名希望)

●今年経済的にも参加するかどうか迷っていましたが。祈る中でホームスクーリング2年目の我が家における問題と、私の熱意低下という悩みも持ちつつ祈りました。そして行くべきだという思いが起きました。結果、我が家のホームスクーリングに大きなヒントと励ましを頂きました。今までだめだと思っていたことがだめではなく、やり方や考え方を考えることでOKになることに気付かせて頂き、有難うございました。

「神様がデザインされている」ことを信じて祈り求めて、答え、導きを神様に頂きながら、子供に接していく、何より自分と神様との関係を整えていくということの理解が深まりました。ティーンの子供たちの交わりにおいて、今回のメインスピーカーとの内容が重なり、深く紐解かれるような分かち

合いが持てたことも私の内に大きな励ましとなりました。そこではお互いに祈り合うこともでき、感謝でした。いつも細やかな配慮の内に準備が成されていて感謝です。(匿名希望)

●10代の子供をどう教えていこうか行き詰まりを感じて、5年ぶりに白馬に参加しました。親の模範を示すことや、具体的なアドバイスの数々、有難うございました。年代別に分けられていて、それぞれの必要に合わせた分科会で良かったと思います。(匿名希望)

●白馬セミナー、本当にありがとうございました。美穂ちゃんの退職から、あまり間がなく、引き継ぎの時間も短かった中での白馬セミナーだったと思います。その中でも、よく役割分担されて、ばたばたした感じがなく、雰囲気もよかったです。本当にありがとうございました。

ピリポさん、馬場豊さん、お二人がそれぞれご自分の歩みを振り返られ、「よかったです」と力強く言われていたことに感動した。

デボラさんが、娘さん(ティーン)の年齢になっても、本が読めなかった)のことで「周りの人が何て言うだろう…」、そして、お母さんがそのように自分を思っていることを察した娘さんに「ママは怒ってないわよ。もっと頑張って、と言っているの」と言ったこと、気持ちがとてもよかったです。自分自身も、娘と、教会学校に来る同じ年の子供たちと比べてみて、「こんなふうだったらなあ」と思ったことがあり、そう思うと自分が情けなく、負の思いから抜け出られない時期があった。しかし、ある時、「そこに陥るなら、地獄だな」と気づかされた。デボラさんのお話を伺い、改めてそう思った。デボラさんの娘さんが、困難だったことを克服し、今では素晴らしい教師となり、学習に困難を覚えている子どもたちを助けている、ということを一歩の恥と思っていたことが、神様の栄光が現れることとなった」と涙ながらに話して下さいました。本当に御名を崇めた。これからは、いろいろなことがあると思うけれど、比べず、周りを気にせず、実が成るのをじっくりと待ち望みたいと思った。山川哲平さん、真紀子さんご夫妻が、父なる神の心が、自分たちの思いとなるようにと、純粋な思いで日々主に求め、祈り、家族で歩んでおられる姿に感動した。目先の祝福を求める祈りから、神様のご計画が自分たちの夢となるように祈ることに変えられた、ということに深く教えられた。

今回のセミナーを通し、ホームスクーリングというのは、主に在って歩む家族の生き方そのものなのだ・・・と思われました。

コンベンションでは離れられなかった娘が、今回はチルミニに参加させて頂くことが出来、ご協力くださったスタッフみなさんに本当に感謝しています。ありがとうございました。

稲葉さんは、各ケースに柔軟に

対応しつつも、ぶれない姿勢が変わらず、本当に感謝です。娘は「稲葉さんは本当によく頑張ったから、賞状をあげたい」と言っていました（笑）！（匿名希望）

●参加でき感謝でした。とても良かったです。勉強になりました。（匿名希望）

●数年ぶりの参加となりましたが、本当に素晴らしい白馬セミナーでした。これまでにないような他のHS家族との出会いや兄弟姉妹との分かち合いがあり感謝です。今回は経済的困難があり、来ることは直前まで考えておりませんでした。しかし、参加が示され犠牲を払い参加したのは大きな意味がありました。デボラ・ベルさんの基調公演や分科会を通し学んだことをどのように適応できるか、家内と共に祈りながら準備中です。（匿名希望）

●参加した時はいつもそうですが、霊的、肉体的にとってもリフレッシュすることができ感謝です。スタッフの皆様、LITのメンバーの方々、どうもありがとうございました。

デボラさんの各講演に励まされました。また森脇さんの分科会は、子どもを神様から預っている家庭（ホームスクーラーであろうとそうでなかろうと）と分かち合いたいとの思いを与えられるものでした。また、ピリポさんの基調講演からは改めて自分の信仰を省みさせられ、ホームスクールの目的を再確認させて頂きました。以前、我が家でホームスクールを始めて、初めての白馬セミナーはホームスクールを行うかどうかを祈り求めていた。今までとは異なる大きな恵みがありました。

（東京 成瀬太郎）

●白馬セミナーほんとうにありがとうございました。毎回タイムリーな必要な励ましを頂いていますが、今年は特別でした。ホームスクーリングを始めて7年経ち、いよいよ8年目に入ろうとしています。今まで通ってきた道、やってきた数々の失敗を思い返しながら、しかし、確かに主に導かれて歩んできたことを確信しました。ひとつの節目でした。自分の弱さを認め、夫婦で歩調をあわせることの大切さ、そして子供たちはある時期が来ると自立できること…などを体験したことを、デボラさんのメッセージを聴きながら思い巡らしていました。次なるステップに行くためにたくさんの力を頂きました。ガン手術の術後の回復についてみなさんに祈って頂き、大変心強かったです。気持ち前向きになりました。感謝です！（北海道 川嶋しのぶ）

●今年初めて母を連れて家族旅行を兼ねて参加させて頂きました。娘のあこが初めてチルミニに参加できたことは、この1年間の成長の証しだなあと感謝しました。最後に子供達全員で合唱したムービーを帰宅後に見せたら、歌いつつ踊っていました。時間が無い中、良く覚えて歌ったなあと感心しました。

デボラ博士の講演はパワフルで的確で具体的で励ましに満ちたものでした。

妻と2人で帰りの電車の中でそれぞれに参加した分科会のことを分かち合いました。すぐに感情的に怒ってしまい易い私は、娘に低いセルフイメージを与えているのではないかと反省させられました。初参加の母も御言葉に則ったチアの取り組みを理解し、行って良かったと申しておりました。

今回は長くHSしておられる方々の分科会にフォーカスして参加しました。不思議と基調講演・分科会共に『神様との関係』、『親が子供の模範になる』ということが心に残りました。

稲葉さん、スタッフの方々、LITの皆の犠牲的なご奉仕と働きに感謝です。ホテルの方々にも感謝します。主の豊かな祝福と報いがあるように祈ります。又参加したいです。ありがとうございました。

PS：帰宅後に白馬で大きな地震があり、数時間ずれていれば被



害を受けて帰宅できなかったであろうと思います。主の助けを感謝しつつ、被災された方々の上に主の助けと慰めと励ましと、癒しと、経済的な支えが与えられますように祈っています。

(神奈川 南雲信幸)

●最高でした！（家族が揃って参加できなくて悔しい！！）感謝です！！デボラ・ベル先生の講演は最高でした。先生の本などは日本語に翻訳する必要があることを強く感じました。

(東京 ビショップ・ガイ)

●よかった。食事がおいしい。時間に余裕があり、あわただしくはない。

普段はコンベンションでは聞けない関西地方の方々の話が聞けてよい。とても励まされます。これからも続けてほしいです。どうもありがとうございました。

(山形 高倉新喜)

●とてもよかったです。M山さんとM脇さんの分科会では多く改めて学ばされました。真剣に子供たちを愛すること、そして妻を愛することが自分の使命＝命の使い道ということですね。

(富山 棚田伊作)

●残念ながら家族全員参加はできませんでしたが、今年も多くの同じ思いを持つ友と励ましあえたこと、必要を満たして頂いたこと感謝でした。

稲葉さんの「面接 & 小論文試験を親子で突破する方法」の分科会が、まさに我が家の我が子のタイムリーな内容で勉強になりました。親子でがんばろうと思います。落ちることを恐れないでというメッセージが娘の心に強く残ったようです。ありがとうございました。

(兵庫 阿部寿子)

\*\*\*\*\*LIT\*\*\*\*\*

●ユースセッションがとてもよかったです。クリスチャンではない友達がたくさんいるので、今より福音を伝えたくになりました。準備など最後までありがとうございました。

(最上喜子 14歳)

\*\*\*\*\*子ども\*\*\*\*\*

●とっても楽しかったです。ごはんもおいしかったです。チルミ二が楽しかったです。来年も行きたいです。

(藤本道子 11歳)

●何年かぶりに白馬セミナーに行ったので、すごく楽しかったです。又、チルミ二最初の日に山登りに行ったのが楽しかったです（ちょっとたいへんだったけど・・・）。歌を歌ったり、踊ったりして、みんなの前でやったのが楽しかったです。来年もぜひたいに行きたいです。来年も山に登りたいです。

(和田愛恵 10歳)



# ♪ ボイス&メール ♪

## Voice & Mail



・今年も大変お世話になりました！チア・スタッフの皆様の犠牲のもとに、私たちのHSが（時折渋りながらも）前進しています。神様が立てて下さった『大きな助け手、知恵、励まし』の存在であるチアの皆様と、ご家族の一人一人の犠牲と忍耐に、主御自身が100倍の報いを与えて下さいますよう、お祈りしています。来年もどうぞ宜しく願い致します。

「しかし、あなたがたはどのような場合にも慎み、困難に耐え、伝道者として働き、自分の務めを十分に果たしなさい。」Ⅱテモテ4:5（名古屋市Aさん）

・おかげ様でホームスクーリングを開始できましたこと、感謝です。愛の足りないものだなあと、つくづく思われる日々ですが、新しく造りかえられていく過程を、希望をもって歩んでいきたいです。（岡山・倉敷市Bさん）

・ハレルヤ！昨年も沢山の恵みを頂きありがとうございます。チアの尊いお働きの上に主からの油注ぎがますますありますように！（横浜市Cさん）

・いつも貴重な情報をありがとうございます。新年もよき働きが続けられますように。（北海道・中川郡Dさん）

・会費を送ります。2014白馬セミナーではお世話になりました。5年ぶりでしたが、親も子も充実した時でした。楽しい時をありがとうございます。（石川・能美市Eさん）

・主の御名をほめたたえます。チア・にっぽんのお働きの上に神様の御祝福と御恵みが豊かに有りますよう、お祈りいたします。アーメン！（福岡・大野城市Fさん）

・いつもありがとうございます。「聖書がわかる28の素敵なお話」50冊のプレゼント、ほんとうにありがとうございます。主に感謝です。（埼玉・長瀬町Gさん）

・頌主 三浦綾子さんの「したきりすずめのクリスマス」第二版の発行を待ち望んでおりました。ご労に感謝！！用いさせていただきます。（岡山・赤盤市Hさん）

・「したきりすずめのクリスマス」、お忙しい中、ありがとうございました。クリスマスの伝道集会用に使う予定です。感謝！！（兵庫県Iさん）

・「したきりすずめのクリスマス」早速お送りくださって、ありがとうございました。皆さんのクリスマスプレゼントに間に合いました。God Bless You.（大阪府Jさん）

・三浦光世氏の記事が目にとびこんできて、とても大きな喪失感を感じています。綾子さんと共に、私にとっては、人生の信仰の師でした。（愛知県Kさん）

・白馬で大変お世話になりました。いつもチアのお働きに本当に支えられています。デボラさんに“わたし自身が神様から生涯HSされている”と教えられ、感激しています。これからもどうぞよろしくお願いします。さらなる祝福をお祈りしています。（長野・下諏訪町Lさん）

## ボイス&メール特別編～ホームスクーリング2年めに向けて

**完璧主義にならず — Sさんからのメールいただき、その返信です。祝福を祈っています。**

**(Sさん)** 新しい年を神様が与えてくださったことに感謝します。3日に、一人で2014年を振り返り、恵みを感謝する時を持ちました。昨年のハイライトは何より、ホームスクールを始められたことでした。

**(稲葉)** ハレルヤ！素晴らしいです(^)！よく決断されましたね。

**(Sさん)** ホームスクールそのものもよかったです。ホームスクールを始めてから、神様が少しずついろんな扉を開いてくださったり、子ども達を成長させてくださったり、どんな小さな必要も神様が助けを備えてくださっていることを、学ばれてる毎日です。

**(稲葉)** 同感です。

**(Sさん)** そうはいつでも、秋口から私の体調が悪くなることも多く、非常に疲れが出やすくなり、子ども達の自習に頼ることもままあります。

**(稲葉)** そうですよ。大変ですよ。

**(Sさん)** 毎日の日課であるはずの「心を育てるために」も、日々の雑務に追われて、週3日しかできなくなってきたり。

**(稲葉)** 週3日もできたら十分だと思いますよ(^)。僕の「聖書に立つ教科書シリーズを使いこなす秘訣」、まだ、お伝えしてなかったでしょうか(^)？もうご存知かとも思いますが、以下、復習を兼ねて、僕が示された秘訣をお分かちしますね。

「完璧主義にならない」ということです。最初

アメリカで僕が聞いた時、指導者の方が、「このテキストは、全部、やろうと思わないでください。1年で半分ぐらいか、3分の1かな…。もし、4分の1進んだら、最高だと思ってやってください」と言ってくれ、なるほどなーと思いました。それで僕はセミナーで「ティーン向けだったら10回、親子でやったらいいと思う気持ちでどうぞ。だって、一緒に聖書を学ぶ習慣がなくなっていたティーンと親が、1年に10回学んだら、それだけですごいことでしょうか？お父さん、お母さんの命をかけた書の学びのために、15分だけ、時間をくれって、チャレンジしてみてください」って言ったのです。聴いていた、ある黄緑色の髪の高校生を持つお父さんが、「挑戦してみます。以前は、教会で褒められていた息子が、最近は、怒って壁を叩いて穴を開けるぐらいの荒れようです。でも、聖書の学び、やってみます」とおっしゃり、数か月後、サマーキャンプ会場で報告してくれました。「10回やりました！すごい良かった」と。さらに「今回だまして、サマーキャンプに連れてきました」と言いながら(^)。だから、10回でも意味あるので、週3回できているなら、すごいですよ。

それと準備には、10分以上、かけないのも大事です。僕は、5分以下で、その日のテーマと最後の問題の答えをチェックしておくだけです。子どもが喜んでのってきても、一日20-30分以上はやらないとか。あまり負担にならず、長く継続するためにです。このあたり、各家庭によって違うかもしれないけど、電話帳のようにツンドクになったり、持つだけで安心したり、すごいプレッシャーにならないための秘訣です。完璧主義にならないことがポイントです。という感じで、セミナーでは話しています。Sさんの状況に合うかどうかわからないけど、とりあえず、お分かちし



には僕にもなじみのない地名とか出てきます。途中、聞かれたら、「町の名前だね」とか、答えながらの方法でやっています。これも焦らず、たくさんやりすぎず、少しずつ読み聞かせていったら、子どもの成長にいいみたいですよ。

+++++

(後日、稲葉からの返信へのSさんからの返信より) それよくわかります。チアに出会っ

ますね。

それと、我が家で、この2年、ジョセフと寝る前に聖書通読してるけど、これもいいですよ(^)。最初の1年半は、子ども向けの聖書だったけど、300ページぐらいの7往復して、この4ヶ月は大人向けの普通の聖書を、だいたい1章ずつ、読み聞かせてしています。5-6歳の子どもでも、普通の聖書が理解できると信じて、読んでいくとやっぱり、わかりますね。子ども向け聖書もいいけど、内容をはしょってたり、子ども用にと、誰かがトピックを選んでいるので、やはり、そのままの聖書を全部、読み聞かせるのがベストだなーと感じています。最初の数日で寝ちゃう日もありますが、慣れてくると、大人の聖書が普通になるようです。2年ぐらい前に、父から、「小さい子は、添い寝して、胸をトントントンとしてあげれば、ずっと寝るんだよ」と教えられ、やってみたら良かったので、それも取り入れて、功を奏していますよ。ジョセフと僕の寝る前に必ずやることとして、3ステップか4ステップ、聖書読んで、軽くマッサージしてあげて、胸をトントントンとして寝付くという感じの3ステップ(夏はうちわつき)ですね。本人も気持ちいいので、「さ、寝る時間だよ」と言うと、「ダディ、聖書読んで、マッサージして、トントントンして、うちわしてください」と言ってくる(^)。そうしたリズムの中で、大人用の聖書を読んでいくと、時

た時から子どもたち、聖書の読み聞かせしてました。最初は1歳、3歳でしたので、子供用の聖書でした。夫がその役を引き受け、朝食前の10分間です。その後、我が家も、大人の聖書を朝1章ずつ読むようになりました。今では、2歳のTも一緒にテーブルにつき、読んだつもりになっています(^)。

+++++

**(Sさん)** ホームスクールを始められたときの楽しさ、喜び、ハネムーンのような時期は過ぎて、日常になり、聖書を学べるありがたさが薄れてきてしまっている一面もあります。学校の勉強も、遅れがちになってしまっています。運動不足も気になっています。

**(稲葉)** 4月6日にジョイランありますので、今から、少しずつ、子どもたちを走らせたらどうでしょうか。体力強化になるし、すべてのスポーツの基礎トレーニングにもなるし。これも「ゆっくり10分」とか、最初から無理しないで、ゆっくり走るということですね。みんなで、あるいは年齢別に走って、少しずつ距離と時間を伸ばし、でもこれもぜいぜいにならない、楽しく長く走れるペースで、おしゃべりしながら、楽しく伸ばしていったらどうでしょう？(お母さんは自転車とかでもOKですが(^)) ゆっくりペースをキープし

つつ、少しずつ走る距離や時間を伸ばすことがこ  
つみたいです。心肺機能もマラソン仕様に変わっ  
てくるし、筋肉もつき、また、毛細血管も開発さ  
れてくるとのこと。「長時間 (Long)、ゆっ  
くり (Slow)、距離 (Distance)」のLSDトレー  
ニングを続けていけば、まだ3ヶ月あるから、ジ  
ョイランの1500mか、5km、必ずできるよう  
になりますよ (^)。歩くぐらいのゆっくりスピー  
ドがポイント、そして、10分～20分～30分～  
45分以上と無理せず、少しずつ、伸ばしていく  
のもポイントのようです。

勉強に関して、焦らないのがいいのでは……  
と思いました。我が家のエミリ (18) ですが、8  
歳、9歳の頃は、勉強が得意とは言えず、自分で、  
「(兄の) 真祈史は勉強、私はスポーツ！」と笑顔  
で、くったくなくはきはき言って、スポーツや音  
楽をしていました (笑)。でも、神さまの恵みで  
すが、中高生時代、しっかり勉強にも取り組み、  
いつの間にか伸びて、(巻頭言で報告しましたが)  
今回、偏差値的にはクリスチャン系の最難関のウ  
ィートン大含め、やはり難関グループと言われる  
バイオラ大やアズベリー大と、志望した3大学、  
全部に合格となりました。その体験からも、焦ら  
ず、少しずつ、努力を重ね、将来を見据えて励ま  
し、主にあるの土台作りを着実にしていくのが  
いいのでは…と思います。様々な研究結果から、  
10歳ぐらいまでに教えたことは、詰め込み教  
育ではなく、勉強の習慣、喜び、基礎学習、神さ  
まにある動機づけ (伝道のための賜物が与えられ  
ていて、その発見と備えのための勉強…等)、方  
法 (わからないとネガティブにならずに祈る、聖  
霊の知恵を求める、親や知っている人に素直に聞  
く…等) を与えておくことで、小学校高学年あ  
たりから加速すると一気に伸びるというデータが  
出ていますね。ケースバイケースだと思いますが、  
焦らず、希望を持って、一步一步、主にある努力  
を重ねるのが基本だと思います。

(Sさん) 2学期の後半はそれでいらだつことも多  
かったのですが、一方で学校と習い事で時間をと

られ、ほとんど家事を手伝わなかった子ども達が  
今や、朝食の皿洗い、洗濯物干し、子供部屋の掃  
除、など、まだまだ時間はかかりますが、自分た  
ちの責任として引き受けていることも、彼らの將  
来を考えたときに、よい訓練であると感謝させら  
れています。

(稲葉) たいしたものですよ。すごいです (^)。

(Sさん) そんな、みっともない日々ではありま  
すが、先日の白馬の早期申込み特典でいただいた  
チアマガジン、1～5号を少しずつ読み進めて  
います。

(稲葉) 特典が用いられて良かったですよ (^)。

(Sさん) 10年以上前の記事で、存じ上げない方  
たちがいらっしゃいますが、同じようなことで悩  
んでいたり、イライラしてたり、という証を読  
むと、私の気持ちも軽くなります。

この証を書かれた皆さん、当時は、まさか10年  
以上後にも読者を励ますとは想像されてなかった  
のではないのでしょうか。

(稲葉) そうですよ (^)。10年以上も後に、神  
さまが用いてくださっていることは、すごいです  
よね。おっしゃる通り、書いた方も、そう思わず  
に書いておられたでしょうね。マガジン、バック  
ナンバー、用いられて感謝だし、すごいですよね。  
そうですね (^)。

(Sさん) そう思うと、チアマガジンの働きの尊  
さに思いがいたりします。神様に感謝しました。

(稲葉) すべて神さまに感謝ですね。

(Sさん) 当時、チアの能登麻里さんがホームス  
クールを始めたばかりで、一言コメントを載せら  
れていたり、今は、あんなに活発に奉仕されてい  
るエミリちゃんがまだまだ小さかったり…、ホー

ムスクールの種と実を両方見せて頂けることも感謝です。

(稲葉) エミリ、小さかったですね……(^^)。エミリに伝えておきます。

(Sさん) チアの働きのためにお祈りしています。

(稲葉) ぜひ、お願いします(^^)。

(Sさん) ところで、先日NHKのニュースでフリースクールのことが取り上げられていました。その中で関係者がホームスクールという言葉を使っていないまでも、ホームスクールへの公的支援について要望したということが報道されていたので、ご参考までにお知らせします。NHK以外ではあまり取り上げられてはいませんでしたので、世の中の関心は高くなさそうですが。

(稲葉) 連絡ありがとうございます。ちょうど、他の方からも連絡いただきました。チェックしてみますね。縛られるようなタイプの公的支援は必要ないけれど、「高認」によって道がさらに拡がったように、さらに法整備が進むべきですね。世間の関心のあるなしと関わらず、ホームスクーリングは、今、ますます神さまが広め、また、ひと家族ひと家族を、キリストにあって強めてくれると思っています。

世の中は、ますます暗くなり、光はますます目立つと思うので。チアとしても、神さまのあわれみを頼りながら、祈り、なすべきことをしていきたいと思います。お祈りお願いします(^^)。

(Sさん) それと、クリスチャンからの批判を受けると心が折れるかな、と思って、今付き合いのあるクリスチ

ャン以外にはホームスクールのことを伝えていなかったのですが、年賀状でとうとう古い付き合いのクリスチャンにも知らせました。

(稲葉) 良かったです(^^)。光を机の上に置くということですね。

(Sさん) さっそく、批判っぽい返事も来ましたが、今は子ども達の中に見えてきている実があるので、そんなにへこまずに済んでいます。

(稲葉) アーメン! 火打石より固い、金剛石の額が与えられることを祈ります。(エゼキエル 3:9)

(Sさん) とりとめのない長文になってしまいました。

(稲葉) いえいえ。僕自身、とても励まされます。感謝です。

(Sさん) これからも豊かな祝福がありますように、お祈りしています。

(稲葉) お願いします。2年めのホームスクーリング、祝福を祈っています。皆さんに、くれぐれもよろしく(^^)。



## ミャンマーの小林京子さん(チア日本語派遣教師第1期生) からのお手紙です!

モンゴルでの1年を経て、ミャンマーへ。この夏で3年めの勤務に入ります。



ミャンマーの子どもたちと共に (右端が京子さん)

「わがたましいよ。主をほめたたえよ。  
わたしのうちにあるすべてのものよ。  
聖なる御名をほめたたえよ。  
わがたましいよ。主をほめたたえよ。  
主の良くして下さったことを  
何一つ忘れるな。」 (詩篇 103:1.2)

現在私は60代後半。昨夏より、ヤンゴン郊外で、伝道者の皆さん子どもたち、14名の日本語の学びを手伝わせて頂いています。この場所で、朝焼け夕焼けや星空を眺める度、詩篇 19:1 を覚えます。また昼は、広い草庭

の一郭を占める孟宗竹が青空を背に葉擦れの音を響かせながら舞う賛美に、見とれてしまいます。此処には、主の癒しが溢れているように感じています。明るくユニークな子ども達と共に祈り賛美し、御言葉を土台とし学び合う時間は、至福です。「伝道のために子どもたちを教えることは見果てぬ夢と諦め、静かに余生を送るのだ…」数年前の私は、自分を偽り、主の御力を見くびっていたのです。しかし主は、この様な者にさえ、真実なお方です(イザヤ書 55:9,11)。この数ヶ月、主は70代80代でさっそうとして主に従い続ける丸森の現役の皆さんと、出会わせて下さいました。私も主の御力を頂きながら、定めの時まで、与えられた仕事に励みたく思っています。栄光在主。 小林 京子

### カンボジア・モンゴル日本語教師募集!! グレーフシティ(株)カンボジア・モンゴル事業所

経験・教師免許・英語等、不要です。国語教科書とドリルを用い、日本語で教えます。

20 - 58 才の女性希望 (ビザの関係で 58 才以下を希望ですが、相談可能です)。

●期間：1年(延長可)2015年4月から勤務(相談可)日本の伝道地で約2週間の事前研修あり。

●生徒：宮城明泉学園・啓明小の姉妹校。伝道者の子どもたち。

(カンボジア：2-13才、3クラス16名)

(モンゴル：4-8才、2クラス4名。他に、韓国人伝道者向けクラス等あり)

●勤務時間：月～金 各7-8時間

\*給与、往復飛行機代、居住する寮(食事(昼&夕)あり・自炊可)  
1年勤務後、2年め更新の場合、ボーナス、日本への往復飛行機代、  
4週間のリフレッシュ休暇等あり。

●面接・試験日：3月21日(祝・土)予定

●場所：宮城明泉学園啓明小学校(丸森町)

●連絡先：チア・につぼん事務局まで、お気軽に連絡ください。

#### 5つのメリット by チアにつぼん

- ① 日本に引きこもらず、海外の価値観を体験できる
- ② 伝道チームと過ごすので安心
- ③ 伝道に後方から貢献できる
- ④ 給与はほとんど貯金できる
- ⑤ 信信的・人格的に成長できる

# 名作映画DVD(書籍)オーダーシート

⇒ FAX 03-6862-8648 メール office@cheajapan.com または郵送

◆ NEW「大草原の小さな家シーズン4」	5,122円( )枚
◆ NEW(巻頭言紹介)「42～世界を変えた男～」DVD・ブルーレイセット	4,093円( )枚
◆ NEW(巻頭言紹介)「チェンジリング」	1,543円( )枚
◆ (巻頭言紹介)「96時間」 1,533円( )枚	◆ 「アメイジング・グレイス」 特価 3,588円( )枚
◆ 廉価版登場! 「ヒューゴの不思議な発明」 1,543円( )枚	◆ 廉価版登場! 「空飛ぶペンギン」 1,533円( )枚
◆ 「奇跡のリンゴ」 5,076円( )枚	◆ 「舟を編む」 4,104円( )枚
◆ 「レ・ミゼラブル」(ドラマ版) 1,523円( )枚	
◆ 廉価版登場! 「レ・ミゼラブル」(ミュージカル版) 1,543円( )枚	
◆ 廉価版登場! 「ソウル・サーファー」 1,543円( )枚	◆ 書籍「ソウル・サーファー」 713円( )冊
◆ ドキュメント「ソウル・サーファーの心」(約2時間、各賞受賞多数。ポスター付) 2,625円→1,543円( )枚	
◆ DVD「ファイアー・ストーム」+書籍「決断する愛」セット 4,104円( )セット	
◆ 「カーズ」 1,944円( )枚	◆ 「しあわせの隠れ場所」 1,543円( )枚
◆ 「カールじいさんの空飛ぶ家」 1,944円( )枚	◆ 「カーズ2」 4,104円( )枚
◆ 「僕はラジオ」 1,523円( )枚	◆ 「怪盗グルーの月泥棒」 1,543円( )枚
◆ 「ライフ・イズ・ビューティフル」 1,543円( )枚	◆ 「プリンス・オブ・エジプト」 1,944円( )枚
◆ 「かみさまへのてがみ」 4,104円( )枚	◆ 「ナルニア国物語3」 1,533円( )枚
◆ 「大草原の小さな家シーズン1」 5,122円( )枚	◆ 書籍「決断する愛」 1,728円( )冊
◆ 「大草原の小さな家シーズン2」 5,122円( )枚	◆ 「トゥルー・グリット」 1,543円( )枚
◆ 「大草原の小さな家シーズン3」 5,122円( )枚	◆ 「チェンジング レーン」 1,543円( )枚
◆ 「スパイキッズ」 1,543円( )枚	◆ 「グラン・トリノ」 1,543円( )枚
◆ 「スパイキッズ2」 1,944円( )枚	◆ 「グレイテスト・ゲーム」 1,543円( )枚
◆ 「天地創造」 1,533円( )枚	◆ 「塩狩峠」 3,218円( )枚
◆ 「アイ・アム・レジェンド」 1,543円( )枚	◆ 「ドリームズ・カム・トゥルー」 1,523円( )枚
◆ 「サムソンとデリラ」 514円( )枚	◆ 「十戒」 2,500円( )枚
◆ 「若草物語」 514円( )枚	◆ 「ザ・ウォーカー」 1,944円( )枚
◆ 「偉大な生涯の物語」 2,046円( )枚	◆ 「トゥルーマンショー」 1,543円( )枚
◆ 「バグズライフ」 1,944円( )枚	◆ 「素晴らしき哉、人生」 514円( )枚
◆ 「ナルニア国物語 第1章」 1,944円( )枚	◆ 「名犬ラッシー」 514円( )枚
◆ 「炎のランナー」 1,533円( )枚	◆ 「クオ・ヴァディス」 514円( )枚
◆ 「フェイスング ザ ジャイアント」 1,533円( )枚	◆ 「聖衣」 514円( )枚
◆ 「サウンド オブ ミュージック」 1,533円( )枚	◆ 「サイモン バーチ」 1,543円( )枚
◆ 「パッション」 4,860円( )枚	◆ 「剣と十字架」 2,046円( )枚
◆ 「黄昏」 1,543円( )枚	◆ 「ファインディング・ニモ」 1,944円( )枚
◆ 「RV」 1,523円( )枚	◆ 「Mr. インクレディブル」 1,944円( )枚
◆ 「幸せのちから」 1,523円( )枚	◆ 「ベン・ハー」 1,543円( )枚
◆ 「奇跡の人」 1,944円( )枚	◆ 「スヌーピーの感謝祭」 2,160円( )枚
◆ 「キング・オブ・キングス」 2,700円( )枚	◆ 「スヌーピーのメリークリスマス」 2,160円( )枚
<b>合計</b>	
枚	円

(個人鑑賞用です)(価格はすべて税込) ※ 5000円未満の注文、または遠隔地の場合、送料(実費)あり。 ※ 1万円以上のご購入の場合、代引発送となります。  
※品切れの際は、少し発送にお時間を頂く可能性があります。また、製造中止の場合、廉価版完売等の場合もありますので、どうぞご了承下さい。

お名前	お電話番号
(〒 )	
ご住所	

## チア・にっぽん カレンダー

### ●第2回 チア・ジョイランニング ワンダークリニック

2015年4月6日(月)

### ●チア・コンベンション2015

大阪 2015年6月5日(金)、6日(土)

東京 2015年6月12日(金)、13日(土)

### ●チア・サマーキャンプ2015

2015年8月13日(木) - 8月15日(土)

### ●白馬セミナー2015

2015年11月19日(木) - 11月21日(土)

### ★白馬セミナー講演・分科会CD・DVD★

50講演を収録した白馬講演DVD(コンピューター用・mp3版)には、特典としてデボラベル博士、ジョイス・イノウエさんらの講演のパワーポイントデータも入っています。お申込みは、チアホームページ、またはチア事務局へ! 定価 6800円(税込)

## 発達障害の治療の試み

柏崎良子 / 柏崎久雄 著・A5判・307P

定価: 本体 2,000円 + 税

柏崎良子医師のマリア・クリニックにおける治療を、  
症例、検査の意味と意義、治療法、  
発達障害になる原因分析、  
治療の手順など詳細に記載しています。



好評発売中

#### <本の内容>

序文. 発達障害や精神障害の治療を願って

I. 発達障害から良くなった子供たち

II. どのように治療をするのか

A. 治療の枠組みと方法

B. 発達障害についての私たちの立場

C. 発達障害の治療への取り組み

D. 治療方法の説明

III. 治療に必要な知識や理論

A. 身体の形成と栄養の補給

B. 障害への対応の基礎知識

IV. 統計、よくある質問、索引

A. 発達障害検査統計

B. よくある質問

お問合せ: 株式会社ヨーゼフ

Tel: 043-207-6035 Fax: 043-207-6036

メール: info@yozeph.com ホームページ: http://yozeph.com

#### 【9月会計】

収入	
献金	939,400
書籍・教科書	545,144
会費	31,000
広告	60,000
DVD/CD、ビデオ等	108,109
その他	266,037
1,949,690	
支出	
事務局経費	1,530,795
通信運搬費	100,838
交通費	26,836
印刷費	220,002
DVD & 商品仕入費	24,086
1,902,557	
残高	47,133
前期繰越	63,275
翌期繰越	110,408

#### 【10月会計】

収入	
献金	1,086,731
書籍・教科書	99,752
会費	54,000
広告	30,000
DVD/CD、ビデオ等	13,111
その他	21,634
1,305,228	
支出	
事務局経費	891,474
通信運搬費	68,214
交通費	94,342
印刷費	93,960
DVD & 商品仕入費	4,685
1,152,675	
残高	152,553
前期繰越	110,408
翌期繰越	262,961

☆尊い献金、会費の送金を、  
心から感謝いたします。



チア・にっぽん事務局

〒189-0013 東京都東村山市栄町1-5-4-103

TEL 042-318-1807 メール対応 FAX 03-6862-8648

メール office@cheajapan.com